

2018 年 12 月 27 日

## 第 4 回サステナブル投資残高アンケート調査結果

### 日本のサステナブル投資残高は前年比約 1.7 倍の 232 兆円

#### アンケート結果サマリー

日本サステナブル投資フォーラム（JSIF）では第 4 回目となるサステナブル投資残高アンケート調査を実施しました<sup>1</sup>。国内に拠点を有する 42 の機関投資家<sup>2</sup>のサステナブル投資合計額は 231 兆 9,522 億 5,000 万円でした。詳細レポートは、2019 年 3 月に発表を予定しています。

なお本調査の結果は世界各国の SIF が共同して来年 3 月頃に発表を予定している“Global Sustainable Investment Review 2018”に JSIF のコメントとともに掲載され、国内外の公的機関や調査会社にも広くご利用いただきます。

#### 本件に関するお問い合わせ先

日本サステナブル投資フォーラム（JSIF） 事務局 担当；吉田  
E-MAIL jsif.jp.net@gmail.com または yoshida@japansif.com

---

<sup>1</sup> 本調査は 2015 年より年に 1 度実施しております。本調査にあたっては JSIF で連絡先を把握できた機関へ協力依頼をメールで送付しました。また PRI ジャパンネットワークには国内に拠点を有する PRI 署名機関への周知にご協力いただきました。

本調査の質問内容については下記の URL をご参照ください。

<http://japansif.com/JSIFsurvey2018qa.pdf>

<sup>2</sup> 42 機関のうち、アンケートへご回答いただいたのは 40 機関、残る 2 機関については JSIF が公開情報をもとに計上しました。

**サステナブル投資残高合計**（金額は百万円単位）

	2017年	2018年	前年比
サステナブル投資残高合計	136,595,941	231,952,250	+69.8%
機関数	32	42	
総運用資産残高に占める割合	35.0%	41.7%	

**運用手法ごとのサステナブル投資残高**（金額は百万円単位）

	2017年	2018年	前年比
ESG インテグレーション	42,966,133	121,511,832	+182.8%
ポジティブ・スクリーニング	6,693,443	6,425,278	-4.0%
サステナビリティ・テーマ型投資	1,384,773	2,014,546	+14.6%
インパクト・コミュニティ投資	372,616		
議決権行使	55,007,706	132,034,774	+140.0%
エンゲージメント	88,037,433	140,754,582	+59.9%
ネガティブ・スクリーニング	14,309,760	17,328,216	+21.1%
国際規範に基づくスクリーニング	23,908,999	31,604,106	+32.2%
合計	232,680,863	451,673,334	

**資産クラスごとのサステナブル投資残高**（金額は百万円単位）

	2017年	2018年	前年比
日本株	59,523,773	137,385,115	+130.8%
外国株	31,842,726	80,482,008	+152.7%
債券	18,301,518	28,891,704	+57.9%
PE	190,443	281,901	+48.0%
不動産	2,666,410	4,637,032	+73.9%
ローン	3,504,432	10,236,320	+192.1%
その他	4,759,604	4,718,818	-0.9%
合計	120,788,906	266,632,898	

※サステナブル投資残高合計の算出にあたり、運用会社にご回答いただいた額より年金基金からの受託額を控除することで、重複を極力避けています。ただし運用手法・資産クラス別の残高については詳細を質問していないため判別できず、運用会社の受託額・年金基金の委託額が重複した数値となっています。なお運用手法については複数回答による数値の重複もあります。この点については次回アンケートに向けて改善を検討してまいります。

## 運用手法の定義

” The Global Sustainable Investment Alliance ” の集計方法を基にして、日本の現状に即した形になるよう JSIF で一部手を加えております。

### ESG インテグレーション

通常の運用プロセスに ESG（環境、社会、コーポレート・ガバナンス）要因を体系的に組み込んだ投資。（例：投資前の ESG 評価・スクリーニング、デューデリジェンス、投資後のモニタリングやエンゲージメント。）

### ポジティブ(ベスト・イン・クラス)・スクリーニング

ESG のスクリーニングを使用して選別されたセクターや企業等に投資する。

### サステナビリティ・テーマ型投資

- 株式…再生可能エネルギー、環境技術、農業、女性活躍、SDGs 等のサステナビリティテーマ・インパクトに着目した株式投資。
- 債券…グリーンボンドやワクチン債等のサステナビリティテーマ・インパクトに着目した債券投資。
- その他資産…サステナビリティ・テーマ型の株式・債券投資以外の投資。（例：コミュニティ投資）

※「インパクト・コミュニティ投資」は「サステナビリティ・テーマ型投資」へ統合しました。

### 議決権行使

議決権行使を行う。

※ESG に関する議決権行使に限りません。

※議決権行使の判断を助言会社に委託しているものも含めて構いません。

### エンゲージメント

エンゲージメント方針に基づき、株主として企業と建設的な対話を行う。

### ネガティブ・スクリーニング

倫理的・社会的・環境的な価値観に基づいて、特定の業種・企業を投資対象としない。

※単に ESG レーティングを適用し、評価が低い企業を投資対象外とする場合は該当しません。

### 国際規範に基づくスクリーニング

国際機関（OECD、ILO、UNICEF 等）の国際規範に基づいた投資。（例：オスロ条約→クラスター爆弾関連企業に投資しない）

## 「サステナブル投資残高アンケート調査」へ投資残高をご回答いただいた機関一覧

※回答 40 機関のうち 2 機関が名称非公開を希望。

三井住友信託銀行株式会社	野村アセットマネジメント株式会社
ニッセイアセットマネジメント株式会社	DBJ アセットマネジメント株式会社
アムンディ・ジャパン株式会社	MS & AD インシュアランスグループホールディングス株式会社
NN インベストメントパートナーズ株式会社	インクス株式会社
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	セコム企業年金基金
損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社	三菱 UFJ 信託銀行
コムジェスト・アセットマネジメント株式会社	J-STAR 株式会社
アセットマネジメント One 株式会社	富国生命投資顧問株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	三菱 UFJ 国際投信株式会社
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	第一生命保険株式会社
朝日ライフアセットマネジメント株式会社	日本生命保険相互会社
三井住友アセットマネジメント株式会社	上智大学
株式会社りそな銀行	野村不動産投資顧問株式会社
企業年金連合会	プロロジス・リート・マネジメント株式会社
太陽生命保険株式会社	MU 投資顧問株式会社
大同生命保険株式会社	株式会社かんぼ生命保険
T & D アセットマネジメント株式会社	アールジェイ・インベストメント株式会社
大和証券投資信託委託株式会社	AD インベストメント・マネジメント株式会社
東京海上アセットマネジメント株式会社	ジャパン・リート・アドバイザーズ株式会社
	みずほ信託銀行株式会社